

# 秋田市の先人たち

幕末秋田藩随一の漢学者

# 平元謹齋

文化七（一八一〇）年生

明治九（一八七六）年没

手形谷地上丁（現、手形新栄町）生まれ



## 主な事蹟

五歳で儒教経書の大学と中庸を暗記したという秀才で、幕末秋田藩随一の漢学者と評された。藩校明德館の文学（学長）となり、藩主佐竹義厚、幼君義睦に学問を講じた。和歌や詩にも長じ、著作も多い。戊辰の政局では非戦論を唱えたため生涯蟄居に処せられたが、その後復歸。

その学系からは西宮藤長・神沢繁・根本通明ら明德館出身の優れた人材を輩出した。